

老朽原発 うごかすな！ ニュース

第59号

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

12月5日、「大集合」の1カ月前

「老朽原発うごかすな！」と「避難先を確保しよう」

大阪市西成区の釜ヶ崎三角公園に集合して、天王寺ハルカスのとなり都ホテル前までヒトリデモに11月7日、天氣の良い暖かい日に参加しました。私の地元の西成は車椅子で外出する人が多い所です。私もベッドで寝ている時以外は1日中電動車椅子上で生活

しています。特に釜ヶ崎の1画は、今まで「身体が資本」の生活を送って来た人が多く、その上無理をしても治療も出来なかった人も多いため、車椅子生活をされている人が多い場所です。だから、この地「老朽原発うごかすな」には特に意味があるのです。私たち、車椅子生活者にとつては、ただでも段差や階段があり、ドアの幅が狭くて入れなかったり、決して住みやすい場所ではありません。その上、古くて故障ばかりを繰り返す40年超えの老朽原発を動かせば、いつ原発事故が



釜ヶ崎三角公園を出発（車椅子が古井さん）

起きるかわかりません。事故になると、私達車椅子生活者は逃げられません。福島原発事故後の一斉避難の時、介護のいる老人だけで暮らしている人たちを置き去り、そして餓死させました。避難所では車椅子利用者が「ひとり1畳分の場所を車椅子利用者は何畳分も取る」と言われ事実上排除され避難所にも行けませんでした。その上、福島原発事故の2年後には、私たち障害者との話し合いで命的選別となる出生前診断は倫理的問題があるので胎児条項は入れないと約束した経緯も無視し、出生前診断を解禁しました。産まれる前に私たちを選別し産まない選択肢を公に掲げたのです。命に格差をつけ、目障りな連中を堂々と排除しようという流れができて

福島でも連帯行動（11月6日）



「原発いらない福島の人たち」や、「チエルノブイリ法日本版の会」などの方々により、11月6日、福島の郡山で、「老朽原発うごかすな！」「老朽原発このまま廃炉！」

福島でも、12・5に連帯して

「老朽原発うごかすな！」と声が

「原発いらない福島の人たち」や、「チエルノブイリ法日本版の会」などの方々により、11月6日、福島の郡山で、「老朽原発うごかすな！」「老朽原発このまま廃炉！」

「脱原発市民ウォーク」などを行われました。ありがとうございます。関西では「放射能汚染水を海に流すな！」のアピールで連帯しています。

だから、釜ヶ崎の人たちにも「命の選別をする老朽原発うごかすな」が自分たちの命のことだと受け止めてもらえれば嬉しいです！今日は何人

かの方が私の側に来て「原発は止める」と言っていました。（脳性まひ者の生活と健康を考える会 古井正代）

「脱原発市民ウォーク」でも、京都の金曜日行動「キンカン」でも、11月2日の「第18回老朽原発うごかすな！実行委員会」でも、実施しました。このような行動が、全国に広がって、原発全廃への大きなうねりとなっていきますように。エールを交わしながら、私たちは勇気をもって進みましょう！

10月30日 脱原発市民ウォークの火 近江八幡でも30名でスタート



「汚染水流すな！」と福島に連帯（11月2日、実行委員会で）

98回目を迎える「脱原発市民ウォーク」の悲願であった滋賀県湖東地区での反原発デモの開催。10月30日（土）「脱原発市民ウォーク」滋賀近江八幡 2021の第1回デモがついに実現した。脱原発をめざす東びわこ市民の会や、連帯ユニオン、関西地区生コン支部を始め、湖東記念病院事件の再審無

罪の西山美香さんや、京都・大阪からも参加いただいた。開会、呼びかけ人である西村静恵さんは、「反原発の運動は、放射能の被曝がもっと語られる必要があります。さらに、すべての原発を止め、無くしていくことに繋げる覚悟です。さらに、私たちの人権の問題としても原発を止めなくてはならないのです。被曝に向き合う方々の 思いも込めて、また、未来へ向けた私たちの責任として、原発全廃に向けて私たちが繋げていきましょう。なんとしても、原発を止めましょう。」と決意を表明された。

ついで若狭の原発を考える会の木原壮林さんから「美浜3号機の再稼働を当初の目論見より半年遅れさせ、45年超えの老朽原発、高浜1、2号機の再稼働を当面断念させたのは、私たち反原発運動の



近江八幡でもびわ湖ウォーク

成果です。老朽原発停止を突破口に原発全廃に向けて大きく前進する好機です。」と激励された。さらに、湖東記念病院事件再審無罪の西山さんから発言をいただいた。

「東電福島原発事故の時、収監中で、ものすごく心配でした。面会した井戸弁護士より、原発関係の本も紹介されました。今日ここで皆さんに会えてうれしい。」と発言された。後の国賠裁判で、検察側滋賀県警は「この人がやつたと信じている。」と再審無罪にもかかわらず、日本の裁判制度を無視するという態度で、滋賀県知事が会見で謝罪

御堂筋で2回目のヒトリデモ

11月2日、夕方の暗さが進む中で、大阪・御堂筋で、本町から心斎橋を往復する大阪では2回目のリレーデモを行い、12・5を訴えました。



神戸、大阪で諸団体への2日にわたって要請行動

し、県警本部長更迭となった『わが』滋賀県警の顛末。デモのシュプレヒコールは、秋晴好天の土曜の巷間をにぎやかした。また1つ市民運動が生まれ関西・政府は追い詰められていく。小さい運動の始まりだか、やがて大河となる。

（「脱原発市民ウォーク」滋賀近江八幡2021」呼びかけ人のひとり 沢井 清

【さいなら原発・びわこネットワークのニュース第56号から転載しました。】

11月8日、9日、中寫哲演さん、木原壮林さんを中心に、神戸で8団体、翌日大阪で9団体、政党や労働組合、議員会派などに、「12・5老朽原発このまま廃炉！大集会」のおおさかへの協力・参加を求めて回りました。すでに昨年9月、今年6月と二度にわたって千人を超える集会を成功させてきただけに、みなさんの反応も好意的でした。これから京都、滋賀も回ります。集会の成功に向け、キャンペーン期間を盛り上げましょう！